

令和5年度 児童発達支援自己評価表（事業所職員向け）

児童発達支援 おひさま 大野南事業所

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		・年長児特化型の事業所なので体も大きく活動範囲も広い、十分なスペースはありますが狭く感じる時もある。活動内容により集中が難しい時は少人数のグループ分けで活動している
	②	職員の配置数は適切であるか	○		・定員に対し十分な職員配置はされている。子どもの特性により個別対応が必要な時や場を離れるときは職員間で声掛けをしている
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		・視覚支援や場所の色分けによりわかりやすくしている。バリアフリーにはなっていないが凹凸は少なく必要に応じて検討できる
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		・療育ルームには常時空気清浄機（エアドッグ）を使用、全部屋に安全な次亜塩素の噴霧器を終日稼働、活動の切り替えには次亜塩素酸水のスプレーを使用し安全で過ごしやすい空間を提供している ・個の机を準備することにより一人のスペースを確保している
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPCDAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		・業務時間が違うため全員参加での話し合いは難しいが個の課題がいつでも見れるようにしている。申し送りノートを活用して必要であれば振り返りをしている
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意見等を把握し、業務改善につなげているか	○		・アンケートにより保護者の意向を踏まえ今後の支援に生かしている
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	○		・ホームページにて公開している（ご意見に対する対応等も記載）
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		・必要に応じて外部研修に参加している（声かけもして頂ける）
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		・日々の活動記録や保護者のニーズに寄り添い、支援計画書を作成している
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		・独自のチェックシートを使用している
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		・子どもの支援に必要な支援内容が設定されている
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		・いつでも支援内容が確認できるように日々のサービス提供記録に記載して支援に活かしている
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		・月間イベントカレンダーを利用して野外活動や制作・学習・個別トレーニング等職員の得意分野を活かしてのプログラムを立案している
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		・月間カレンダーを利用し季節に合わせた活動を取り入れている
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		・打ち合わせの時間が少ない時も臨機応変に対応できている ・活動計画のカレンダーを活用して共通して見通しが持てるようにしている
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		・勤務時間の関係で終了時までいない職員に対し、申し送りノートで共有している
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		・利用時に個々の提供記録を取っている、必要に応じて支援計画へつなげている

	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		・定期的にモニタリング会議を行っている。必要に応じて面談をし計画書の見直しをしている
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		・基本児童発達管理責任者が参加している
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		・必要に応じて連携をしている
	㉓	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・情報を共有し、移行の際は場を設け支援計画書やサポートブックを渡し共有を図っている
	㉔	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・場を設け連携をしている
	㉕	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		・併用事業所と連携を取り意見交換ができる場を設けている
	㉖	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	
	㉗	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等に積極的に参加しているか		○	・機会があれば参加したい
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	○		・連絡帳や送迎時にコミュニケーションをとっている
保護者への説明責任等	㉙	保護者の対応力向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレントトレーニング等）の支援を行っているか	○		・個別で相談があれば対応している ・連絡帳でのやり取りや送迎時に聞き取りをしている
	㊳	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		・見学や契約時に伝えている
	㊴	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容とこれに基づき作成された「児童発達支援計画」示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		・個々の成長に合わせ支援内容を計画し保護者様に同意を得ている
	㊵	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		・必要に応じて面談を行っている
	㊶	父母の会の活動の支援したり、保護者会等の開催する等により保護者同士の連携が支援しているか		○	
	㊷	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		・保護者とラインでつながり気軽に相談できるような体制を整えている ・申し入れが有ればすぐに面談を行っている
	㊸	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等を子どもや保護者に対して発信しているか	○		・変更があった場合はその都度連絡帳やラインで発信している
	㊹	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		・鍵付きキャビネット等で管理している ・連絡帳で使用する写真はその日のうちに削除している
	㊺	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		
	㊻	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		・行事はないが野外活動時の挨拶は子どもたちとしている
非常時の対応	㊼	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		・定期的な避難訓練 ・子ども向けの防犯訓練（いかのおすし）の実施
	㊽	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行っているか	○		・子ども向けの防犯くんれんの実施
	㊾	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		・契約時に確認している
	㊿	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		・必要に応じて医師の意見書や服薬の同意書をもらっている
	㋀	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		・おひさま内の他事業所についても共有している
	㋁	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		・外部の研修を受けている
	㋂	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		・身体拘束は原則禁止としており記載は行っていません